

渥美半島 大地と海の恵み 16

農政課 ☎23-3517

田原市産の花の魅力、PRしています！

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での国産の花の活用を提案!!

5月12日（金）、山下手長から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会担当の丸川大臣に対して、国産の花の活用について提案を行いました。会談では「東京2020大会ではたくさんの方が使われるでしょう。大会を盛り上げるためには、生産者や関係団体が協力して要望していくことが大切」とのアドバイスをいただきました。

日本一の花の生産地である本市では、年間を通じて多彩な花を栽培しています。夏に開催される東京2020大会では、高品質で花持ちの良い田原市産の花が、会場だけでなく東京の街を明るく彩ってくれるはずです。本市では3年後の大会開催に向けて、今後関係者の皆さんと協力して取り組んでいきます。



◆国際的フラワーデザイナー・赤井勝さんとのコラボレーション

国際的に活躍されているフラワーデザイナーの赤井勝さんにご協力いただき、サント

リーホール（東京都港区赤坂）で行われたコンサート会場を田原市産の赤いマム（菊）で装飾しました。鮮やかな色が会場を引き立たせ、コンサートに彩りを添えました。

また、デンマーク大使館で行われた本市のマムを使ったフラワーレッスンでは、デンマーク大使や大使夫人をはじめ参加者の皆さんに田原市の花の魅力とともに、田原市そのものの魅力もお伝えすることができました。

◆都内フラワーショップとのコラボレーション

銀座や中目黒、原宿などに店舗を構えるフラワーショップにご協力いただき、期間限定で、渥美半島をイメージした装飾を施した店内で田原市産の花の販売を行い、本市の花の魅力をPRしました。本市で育った良質な花々は、フラワーショップの店員の皆さんからも高く評価していただきました。



今月の花

7月の

渥美半島の花と鉢花

ヒマワリ

（花／出荷時期：6月～9月）

花ことば

あなただけを見つめる

夏を代表する花です。種は食用やヒマワリ油の原料にもなります。本市では約40万本が出荷されています。



ポトス

（鉢花／出荷時期：1年中）

鉢

花ことば

永遠の富

つる状の茎とハート型の葉を持つ、初心者向けの育てやすい鉢花です。本市では約18万鉢が出荷されています。

